

# 地域での多様な活動 救急救命学科学生の活動事例

救急救命学科 佐野哲平  
増山可壱

地震・台風等災害頻発国日本における「災害に備えるまちづくり」

大規模災害時には様々な場所で問題が発生 → 消防車・救急車等の到着は遅れる



その間は市民により消火・救助・救命処置などをする必要がある

これらの事前対策が防災

救急救命学科の学生として  
どのように貢献できるか

救命講習

## 1. 応急救護訓練の実施

羽村市及び三鷹市近隣中学校へのBLS指導(一次救命処置)の実施(計1046名)

教員及び三鷹消防署員による講義  
学生による心肺蘇生法の  
展示・指導

講義 → 応急手当の必要性  
展示・指導 → 胸骨圧迫とAED



## 2. 三鷹市総合防災訓練への参加(令和元年11月4日)

「じじよまる」も  
訓練に参加

市民は約1,200人が参加!(主催者発表)

市民へBLS(一次救命処置)指導を実施



## 3. 第28回三鷹市民駅伝大会救護ボランティア(令和元年11月24日)

全206チーム、約800名が参加  
数箇所の救護所へAEDの配置  
転倒によるけが人がいたものの無事終了  
三鷹消防署と連携し救護活動に従事

三鷹消防職員



## 今後の活動展開 I

\* 学生が防災訓練等で行っている救命講習は1人につき、約10~20分

\* 本来、数時間かけて行う講習を10~20分で指導 → 短時間で技能を身に着けることは不可能

自分たちの行っている講習は、  
きっかけづくりに過ぎない!!

そのためには... 普通救命講習・上級救命講習の受講機会の増加・促進!!  
災害時等に自信を持って応急救護・心肺蘇生が出来るという市民を増加させる!!

- ・普通救命講習: 3時間 (心肺蘇生法、AED、異物除去、止血法)
- ・上級救命講習: 8時間 (普通救命講習の内容+小児・乳児の心肺蘇生法、外傷の応急手当、搬送法)

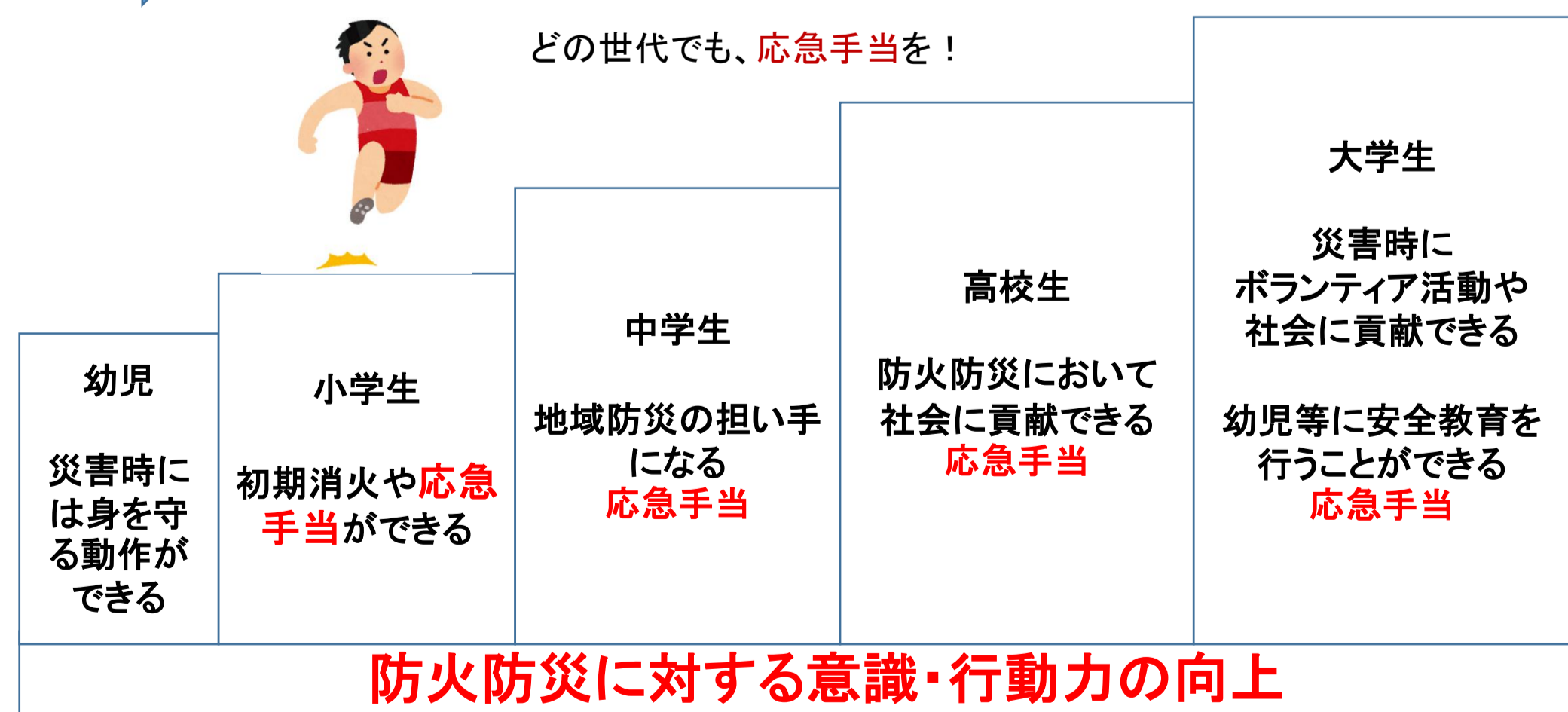
## 今後の活動展開 II

「災害に備えるまちづくり」の為に各各地域の防災意識・防災力の向上が必要不可欠

防災意識・防災力の向上には幼少期からの防災教育が大切!!



どの世代でも、応急手当を!



市民一人ひとりの防災力の向上

## 今後の活動展開 III

VRを用いた火災からの避難、地震体験、応急救護体験

東京消防庁HPより引用



東京消防庁は平成30年より運用開始

- ・防災訓練... 東京消防庁から起震車・VR車を借り、学生主導で防災訓練を実施  
災害時にボランティア活動や社会に貢献できる・幼児等に安全教育を行うことができるようになる事から。
- ... 羽村市・三鷹市総合防災訓練では今後指導員数を増やし、応急手当の指導機会の増加・指導内容の鮮明化を目指す。